

令和元年度札幌市民スポーツ賞

札幌市におけるスポーツ振興に大きく貢献した 1 名及び 1 団体、優秀な成績をおさめた 2 名の令和元年度札幌市民スポーツ賞受賞が決定し、令和 2 年 2 月 13 日（木）ホテルライフォート札幌にて贈呈式が執り行われました。

皆様が受賞の栄誉に輝かれたことを心よりお喜び申し上げます。これまでのたゆまぬご尽力に敬意を表しますとともに、今後の更なるご活躍をお祈り申し上げます。

一般財団法人札幌市体育協会事務局

《一般財団法人札幌市体育協会加盟競技団体関係》

氏名	団体名	役職
大川原 洋 さん	札幌柔道連盟	副理事長

《札幌市民スポーツ賞》

札幌市民スポーツ賞とは、札幌オリンピック冬季大会を記念して、昭和 48 年度に創設されたもので、札幌市のスポーツの普及進展に関し、その功績をたたえ、より一層の活躍を期待することを目的とし、特に事績が顕著な市民を表彰するものです。

平成 30 年度までに 223 個人 80 団体、計 303 件の方々が受賞されています。

〔受賞者一覧〕

※札幌市役所ホームページより抜粋

【普及進展部門】

大川原 洋（おおかわら ひろし）さん

平成元年から札幌柔道連盟の理事、副理事長を歴任し、札幌市で開催される大会等の運営にあたり、柔道競技の発展にご尽力されました。また、札幌市厚別区体育館指導員として少年少女への指導にあたるほか、講習会の講師として、指導者や審判の育成に力を注がれ、柔道競技の普及・発展に貢献されるなど、札幌市のスポーツ振興に大きな功績がありました。

【奨励部門】

真栄体育振興会（しんえいたいいくしんこうかい）

昭和 63 年に設立して以来、真栄小学校の体育館の学校施設開放事業自主管理業務を受託し、大人から子どもまで誰もがスポーツに触れる機会を提供し、地域スポーツの普及・発展に取り組んでこられました。また、地域交流の取り組みとして主催事業に取り組むほか、区内で開催される各種スポーツ事業への協力など、地域のまちづくりにも大きく貢献されております。こうした、永年にわたる活動は、札幌市のスポーツ振興の模範となるところであり、大きな功績であります。

【成績優秀部門】

御家瀬 緑（みかせ みどり）さん

令和元年 6 月：第 103 回日本陸上競技選手権 女子 100m 優勝

令和元年 8 月：第 72 回全国陸上競技対抗選手権大会 女子 100m 優勝、走幅跳 7 位

城山 正太郎（しろやま しょうたろう）さん

平成 31 年 4 月：アジア選手権 男子走幅跳 5 位

令和元年 7 月：ナイトオブアスレチックス 2019 男子走幅跳 優勝

令和元年 8 月：Athlete Night Games in Fukui 男子走幅跳 優勝

令和元年 9 月：世界陸上選手権 男子走幅跳 11 位